

令和 7（2025）年度関西医科大学大学院看護学研究科

博士前期課程

入学試験問題 冬期

外国語（英語）

問題 1 次の英文を読み、後続く各問題に答えなさい

The Japan Times, 2024/07/11, Young long-term caregivers likelier to have mental health issues より引用、一部改変

- 1) 下線部①を日本語に訳しなさい。
- 2) 若年介護者のうち長期的な介護をしている者は、そうでない者と比較してどのような精神的健康に関する問題を持つ可能性があるかと述べられていますか。日本語で説明しなさい。
- 3) 本調査の結果から明らかになったことを、日本語で説明しなさい。
- 4) 本調査の趣旨に当てはまるものを、下記の a)～e)の中から一つ選び記号を書きなさい。
 - a) 高齢者、慢性疾患、精神疾患、依存症を持つ家族を週に 1 日間無報酬で介護している青少年を、「若年介護者」と定義した。
 - b) 2002 年から 2004 年の間に生まれた全国の若者を対象に行った調査である。
 - c) 14 歳から長期にわたって家族の介護をした場合、うつ病に罹患する可能性は、介護をしなかった若者の 2.06 倍である。
 - d) 14 歳から 16 歳までの間に長期間の介護を続けていた若者は特に、自傷行為や自殺願望を持つ可能性が高くなる。
 - e) 学校や公的機関は「若年介護者」を認識することが重要であり、介護を支援する必要はない。
- 5) 本調査の結果から、若年介護者にはどのような支援が必要であると考えますか。あなたの考えを日本語で述べなさい。

令和 7 年度 関西医科大学大学院看護学研究科
博士前期課程 入学試験問題 冬期 外国語（英語）出題の意図および解答例

問題 1.

1)

【出題の意図】

研究論文における「研究方法」に類似する部分であり、英語論文では一般的にみられる単語・熟語で構成される文章である。この文章を日本語訳することで、英文を適切に読み解く力、日本語として正確に表現できる力を評価する。

【解答例】

この研究は、2002 年から 2004 年に生まれた東京都在住の 3,171 人の青少年が 10 歳、12 歳、14 歳、16 歳の時に実施された調査結果を分析したものである。3,171 人のうち、2,438 人が 4 回すべての調査に参加した。

2)

【出題の意図】

「研究結果」となる部分を説明している文章である。英文の中から結果について述べている個所を的確に抽出し、日本語として正確に表現する能力を評価する。

【解答例】

長期介護者では、14 歳の介護者は介護していない者と比較してより 2.49 倍うつ病を経験しやすく、16 歳の介護者は 2.51 倍自傷行為をしやすかった。また、若年介護者は自殺願望を持つ可能性が 2.06 倍高かった。

3)

【出題の意図】

本文中から適切な文章を選択し、日本語として適切な文章に表現する表現力、単語の意味を正確に把握し、日本語として表現しうる力、また文章中から適切な個所を選択し、要約しうる日本語の文章力を評価する。

【解答例】

長期間介護を行う若年介護者は、そうでない若者と比較して精神的健康問題を経験する割合が高い。

4)

【出題の意図】

本文全体を正確に読み取る読解力、ならびに解釈力を評価する。

【解答】

d

5)

【出題の意図】

若年介護者といった、看護職として支援の対象となる人々への見識について問うことで、社会の課題を自身の課題としてとらえる力、日本語としての語彙力、表現力、文章構成力、論理的思考力を評価する。

【解答例】

若年介護者は学校等に所属している場合が多いが、学校で若年介護者が利用できるサービスを知る機会は今ではあまり多くないと考えられるため、学校と福祉関連事業所が連携して、このような家族を認識し地域で支えるシステムを構築することが必要である、など自らの考えを述べていること。